

出羽山地：鳥海山

- ◆日程 2023年7月8日(土)
- ◆メンバー L: OT、KT
- ◆天候 雨時々曇り

鳥海山は入会時に書いた、『登ってみたい山』の一つだった。春合宿で山形の朝日連峰遠征のプレ登山にと考えたが山スキー以外での日帰りは登下降スピードが要求されるうえ、大荒れ予報であったことから断念した。今回、雪渓が多く残るなるべく早い時期を狙った。鳥海山の山開き(7/1)翌週なら、梅雨のさなかでもあり、空いていることも期待した。バスはキャンセルが出たのか乗車率は半分くらい。道路工事のため現地着が遅れ、20分遅れての登山開始。あいにくの雨模様のため雨具装着。発汗を抑えるためなるべくゆっくりと歩く。御浜小屋から先は強い南風に晒され、多くの人が引き返していた。この程度の風であれば南風にもろに晒される外輪山は無理でも山頂(新山)には立てると判断し進む。案の定、風雨は強弱があり、時折晴れ間も見られる。雪渓では一ヶ所だけチェンスパイク装着。小屋前から山頂へは岩場歩きのため、ヘルメット着用し、無事登頂。幸運にも風雨が収まり、所々遠方が望める。お陰で予定通り外輪山も歩くことが出来、念願を達成できた。初夏ならではのお花畑も楽しめた。最後までしっかりと付いてきてくれた KT さんのお陰で良い山行となった。感謝したい。

(記: OT)

私の行く山はタイミング等で決めることが多い。今年は春合宿が朝日連峰だったこともあり、山形の山にまた行くのもいいな、と思っていた矢先で計画が出たので参加することにした。CT的にギリギリな行程ではあったが、「これを登り切れれば自信に繋げる事が出来る」と思い、気合を入れて臨んだ。CTがギリギリなのにあいにくの雨模様かつ到着時間が遅れ、気持ちが焦るが、OTさんが「ゆっくり進もう」と声をかけてくれてゆっくりめに進んでいく。御浜小屋について風雨が強くなり行ける?と思ったが、OTさんの熱と判断に任せて進むこととする。だんだん上っていくにつれて急登が多くなり、なんとかついていく。御室小屋から山頂まで岩場が見え、不安になるとOTさんが「俺が絶対頂上まで連れていく」と言ってくれて、気合を入れなおしたと同時に、今後自分がリーダーになった時にメンバーにこう言える人になりたいと目標が持てた。下りは花を見ながら下山。弾丸だったが、楽しい山行になった。(記: KT)

CT: 鉾立口 7:20 - 御浜小屋 8:55 - 千蛇谷 10:20 - 新山 12:10/12:40 - 七高山
13:30 - 文殊岳 14:25 - 御浜小屋 15:35 - 鉾立口 16:45

